

きらら



第15号

発行 社会福祉法人カナン
編集 カナン広報委員会

お花見(コスモスユニット)

四月六日に施設内の駐車場でお花見をしました。三月下旬に予定していましたが、例年よりも桜の開花が遅かったため、少し時期をずらして行いました。入居者様の居室からも桜の花は見えていました。外に出て入居者様に外の空気を直接肌で感じていただきたいと思い計画しました。この日はお天気も良く、ちょうど桜の花も満開で入居者様も綺麗やなー。もう春やなーと桜を見ながら話されていました。昼食は管理栄養士さんの協力もあり、お弁当を用意して桜を見ながら外でゆっくりと食べていただきました。外で食べるとう気分が変わるようで普段は、野菜を召し上がらない方もこの日は野

デイサービスに介護ロボット「PALRO」が導入されました！

利用者様とのコミュニケーションや体操、レクリエーションなど様々なことをこなすことができるAI搭載ロボットの「PALRO」といいます。サイズは小柄ですが、利用者様一人一人の顔や名前を覚えることができ、体操やレクリエーションの内容

も随時更新されるので、常に新しい体操やゲームを行うことができます。また、こどもに近い声に設定されているため、皆様から可愛らしいと興味を持っていただいています



菜をしっかり食べられており、職員も驚きました。美味しかったわ。たまにはこんなもええな」と話されていました。入居者様と色々な話をする事ができて良かったです。昼食の後は少し外で過ごし、風も気持ちよくウトウトとされている方もおられました。これから気候も暖かくなるので、また入居者様に楽しんでいただけるような計画を考えていきたいと思



NHKの取材を受けました

こんにちは。看護・生活支援課長の島です。この度、四月より役員が看護・生活支援課長に変わりました。生活支援課長という事で、これまで以上にケアの質向上と、家族様とのつながりを大事にし、「この施設に入って良かった」と言っていただけという努力がまいります。よろしくお願いします。

さて、今回はNST(栄養サポートチーム)の近況について報告いたします。早いもので、NST創設から三年が経ちました。当初は『安全』を最優先し支援を行っていましたが、現在の方針は『安全』と『食べる喜び』に変わってきました。『食』というのは、生きるために必要なものだけでなく楽しみとしての要素も強いです

三月十一日に大阪介護福祉社主催の「看取りケア研修」の講師として八尾施設長と島看護・生活支援課長が出講しました。当施設では、ご本人様、ご家族様の意向に添った看取り介護の「ご希望があれば、病院で最期を迎える」ということはしません。ご本人にとって住み慣れた第二の家である、あんり・ゆうり、常勤の施設管理医師と手厚い看護職員の配置で、適切な苦痛の緩和を図りながら、

PALRO君と会話しています



看取りケアについて

取材の様子です



できる限り、入居者様と家族様の意向に寄り添い、安全におしく食べていただけるように、これからも支援を続けていきます。そして、このような取り組みがNHKワールドジャパンで紹介されました。時間としては、短いものでしたが、これまでのNST活動が認められたのだと感じ、嬉しく思いました。しかしこれで満足するわけにはいきません。今までの以上に、安全でおいしい食事を食べていただけるようケアの質を向上してまいります。これからも、NSTにご期待ください。

祝・百歳！
3月7日ゆうりにてめでたく100歳を迎えられた古川様のお祝いの式典を行いました。河南町長もお祝いに駆けつけてくださり、大変喜ばれておられました。大好きな息子様夫婦に見守られて、終始笑顔で過ごされました。毎日熱心に新聞を読まれ、計算問題にも取り組んでおられます。これからもお元気で、沢山お喋りしましょうね。



その方の人生を生きることができよう。多職種が協働して看取り介護をさせていただいています。私達は常に学び続けること、ケアを通して心で感じることを大切に、ケアの質を向上させこの施設に入居して良かった」と心から思っていたように職員一丸となって頑張っています。今回八尾施設長が担当したテーマは「介護施設での尊厳について・高齢者の尊厳を保持する看取りケア」で講義させていただきました。島看護・生活支援課長は当施設での「お食いなめ」等の看取り介護の取り組み紹介と、グループワークでは事例をあげて支援方法の検討を行っていただきました。受講者の方々は積極的に意見交換され、お互いに良い学びと刺激を受けました。これからは私達は自施設のケアの質向上を図るためチャレンジし続けます。



リハビリの様子です

レッドコード導入 ■デイサービス

新しく導入されたレッドコードでは、体幹の筋肉や骨盤の動きに対してアプローチをすることができ、全身の筋肉の緊張の緩和や関節を正常な動きに近づけることができます。その結果、高齢者の方が苦手とするバランス動作や立ち座り動作時の重心移動の安定化を図り、転倒リスクの軽減に繋がります。また、麻痺のある方や腕を上げるのが困難な方でも付属のリングの使用により重力の影響を受けずに運動をすることが可能なため、普通に行うよりも負荷や痛みが少なく、効率よく関節の運動が行えます。